

那覇市 景観賞

首里染織館 suikara など5件選定

那覇市（知念賞市長）は、市内の優れた都市景観を形成する建築物などを表彰する「第22回那覇の景観賞」に、



大きな建物部門を受賞した首里染織館 suikara (提供)



受賞者らと幸地部長（前列中央）

首里当蔵町の「首里染織館 suikara」や久米の「天妃フラワーパーク」など5件を選定した。11月7日には市役所で表彰式が開かれ、受賞施設の所有者、設計者、施工者らに記念の楯が贈られた。

「受賞作品が都市景観向上の手本となり、那覇市内に魅力的な場所が増えることで、快適で美しいまちづくりが進むことを期待している」と述べた。

同賞は、都市景観の向上と市民の景観意識の高揚を目的に3年に1度開催。今回は5つの部門に応募のあった計82件の中から、小さな建物部門に「彦本店（おもろまち）、大きな建物部門に「首里染織館 suikara」（首里当蔵町）、まちのインフラ部門に「三重城ふるさと海岸遊歩道（西）、すてきな広告部門に「榮椿（えいちん）の外観」（首里儀保町）、風景まちづくり部門に「天妃フラワーパーク」（久米）の5件が選ばれた。

表彰式には、首里染織館 suikara を施工した（株）東恩納組の東恩納惟社長も出席し、「無事故・無災害で施工を完了できたことが受賞につながったと思う。今後も都市景観に寄与する建物を作っていくので、またこの賞を取れるよう頑張っていきたい」と受賞の喜びを語った。

表彰式で知念市長（代読・幸地貴都市みらい部長）は

同施設は、琉球びんがた・首里織の魅力を発信する拠点施設として2022年に建設。伝統的な寄棟赤瓦葺きの外観に加え、将来的に龍潭通りが琉球石灰岩で舗装されることを見据えた仕上げなどが高く評価された。